



第2章 地域福祉を取り巻く摂津市の現状

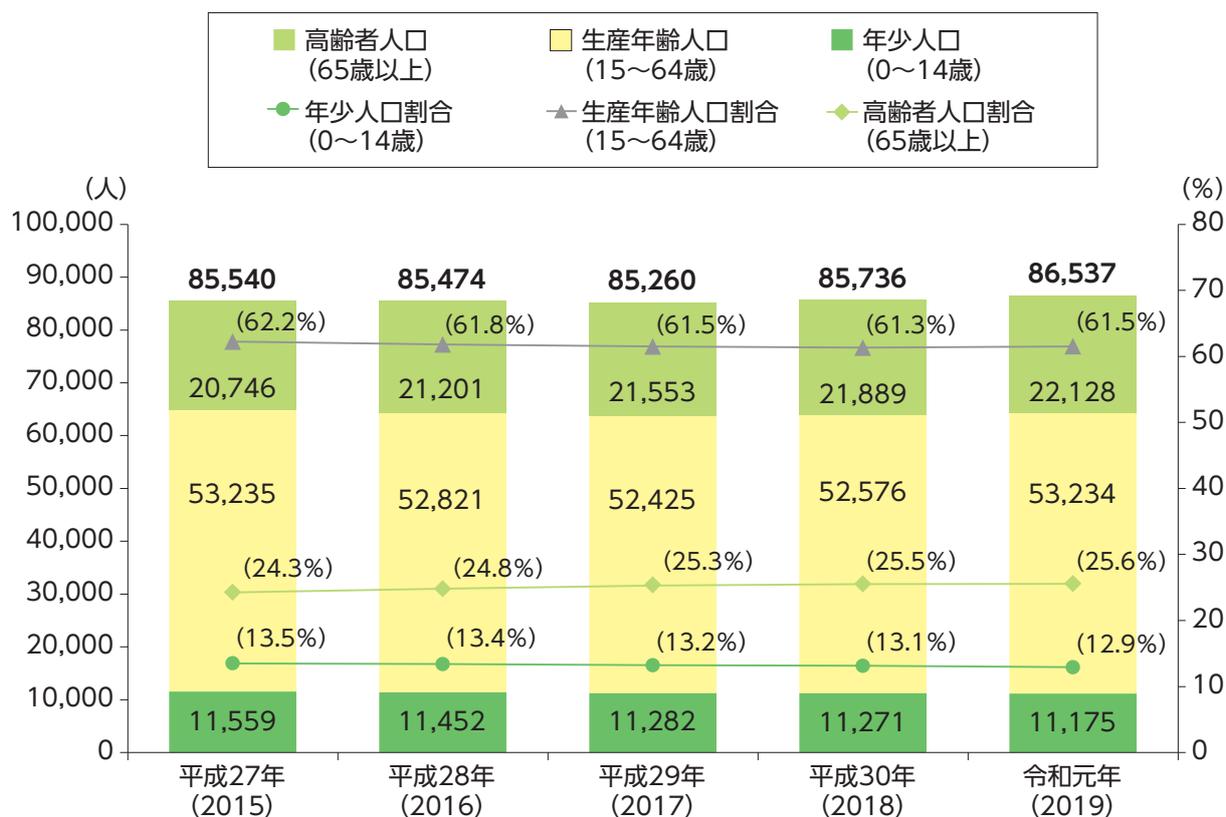
1 統計からみる市の現状

1 人口の推移

本市の総人口は、近年は、わずかに増減しつつ8万5千人台で推移してきましたが、令和元年には、「北大阪健康医療都市（健都）」における大型マンションの開発等の影響により86,537人まで増加しています。しかしながら、開発による住宅供給などが一定落ち着いた後は、全国的な傾向と同様に本市でも人口減少に転じると見込まれています。

年齢3区分別にみると、年少人口は減少傾向にある一方で、高齢者人口は一貫して増加しており、高齢化率は年々上昇し、令和元年では25.6%となっています。

■人口の推移



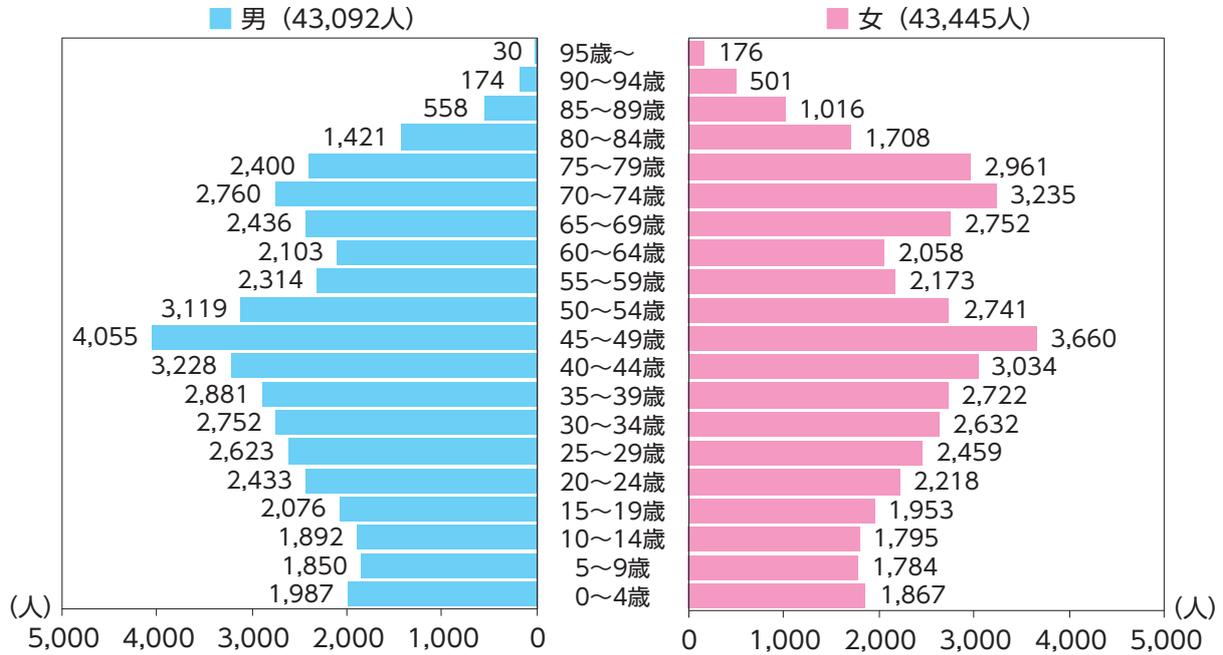
資料：住民基本台帳（各年10月1日現在）





本市における令和元年の人口ピラミッドをみると、下図のように45～49歳人口が多くなっており、この世代が高齢者となる2040年以降、急速な高齢化が懸念されます。

■人口ピラミッド



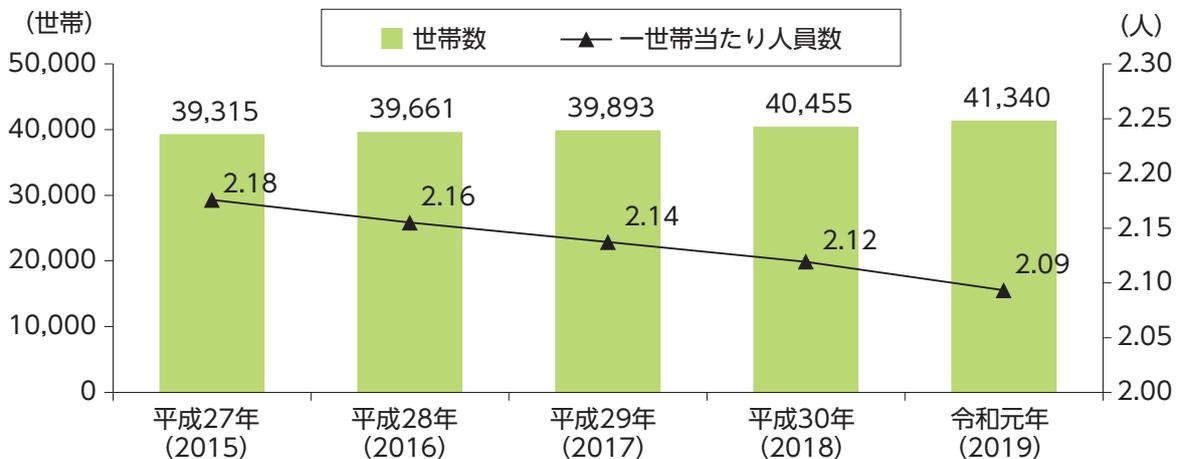
資料：住民基本台帳（令和元年10月1日現在）

2 世帯の状況

① 世帯数と平均世帯人員

近年の世帯数は増加し続けている一方で、一世帯当たり人員数は減少し続け、令和元年に2.09人となっています。

■世帯数・一世帯当たり人員数の推移



資料：住民基本台帳（各年10月1日現在）

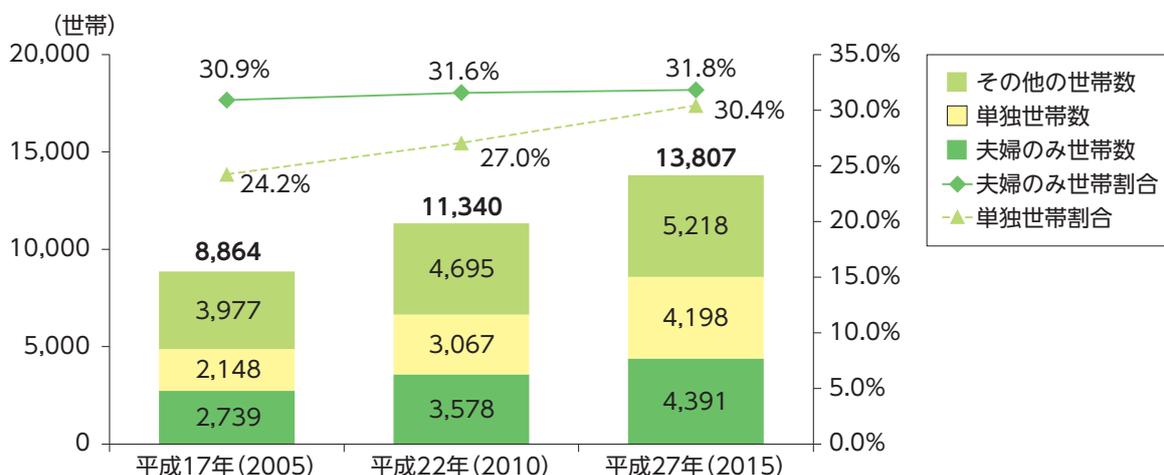




② 高齢者のいる世帯の状況

65歳以上の高齢者のいる世帯数は増加傾向にあり、平成27年に13,807世帯となっています。そのうち、夫婦のみ世帯、単独世帯についても、ともに増加しています。

■ 高齢者のいる世帯の推移

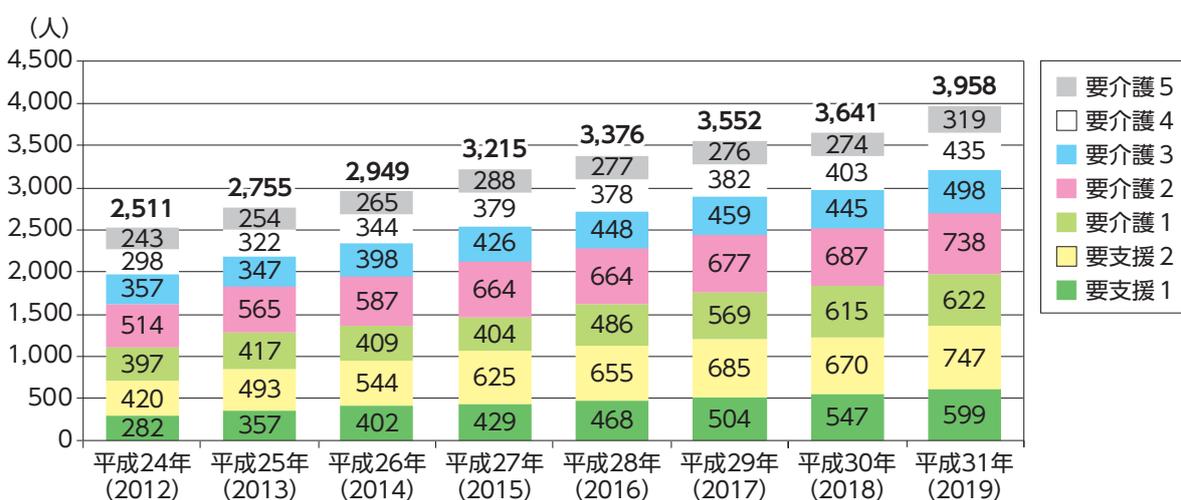


資料：国勢調査

③ 要介護者の状況

本市の要介護認定者数は、総数及び全ての介護度において増加傾向にあります。平成31年の認定率は大阪府や国よりも低い値となっているものの、認定率の上昇率は大阪府や国よりも大きくなっています。

■ 要介護認定者数の推移



認定率(摂津市)	14.4	14.9	15.2	15.7	16.1	16.6	16.8	18.0
認定率(大阪府)	19.2	19.7	20.1	20.3	20.5	20.7	20.9	21.4
認定率(全国)	17.3	17.6	17.8	17.9	17.9	18.0	18.0	18.3

資料：厚生労働省 地域包括ケア「見える化」システム(各年3月末)

※平成23年度から平成29年度：厚生労働省「介護保険事業状況報告(年報)」
平成30年度：「介護保険事業状況報告(3月月報)」



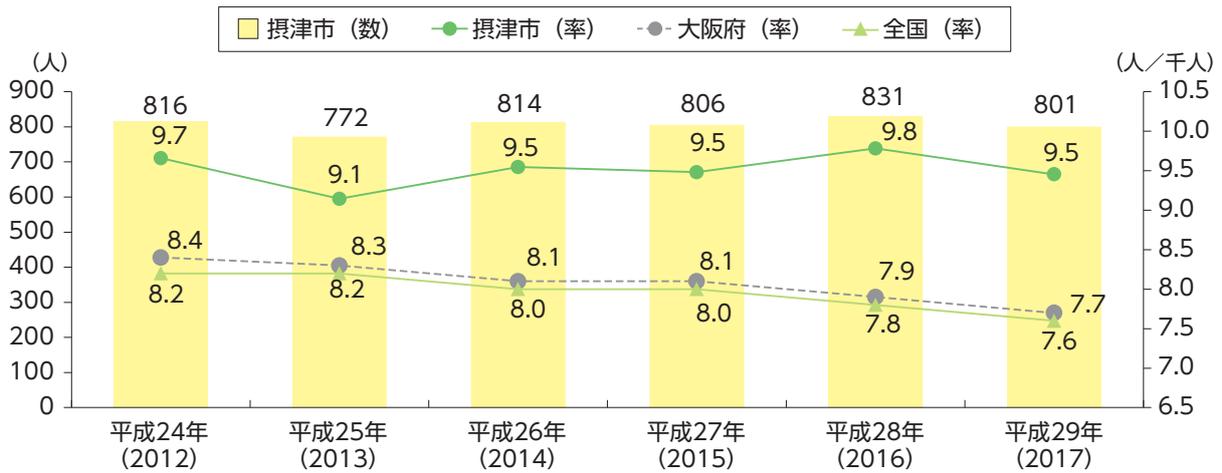


3 子どもの状況

① 出生の状況

全国的に出生数の低下が大きな課題となっている中、本市の出生数は横ばいで推移しており、平成29年に801人となっています。出生率は、大阪府や全国の値を大きく上回って推移し、平成29年に9.5となっています。

■出生数・出生率の推移

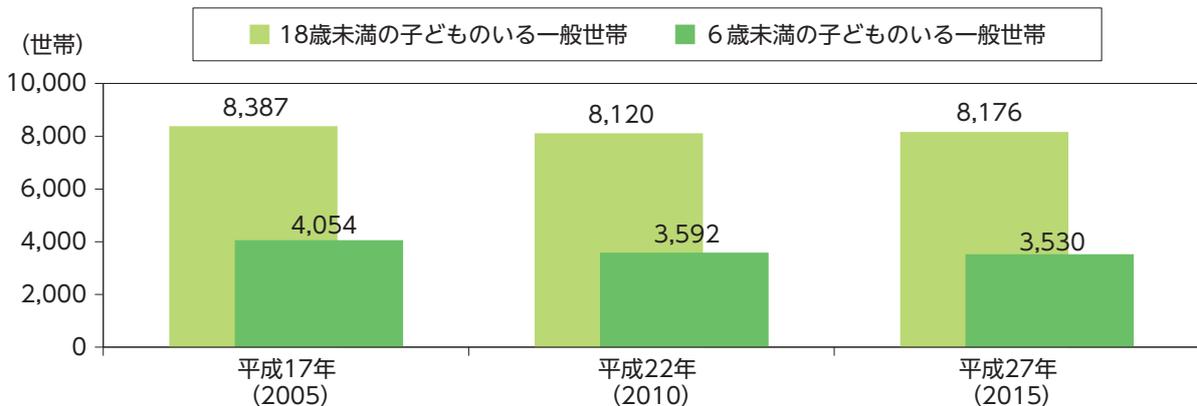


資料：大阪府人口動態調査

② 子どものいる世帯の状況

平成27年は、6歳未満親族のいる世帯数は減少したものの、18歳未満親族のいる世帯数は増加しています。

■子どものいる世帯数の推移



資料：国勢調査 (各年10月1日)

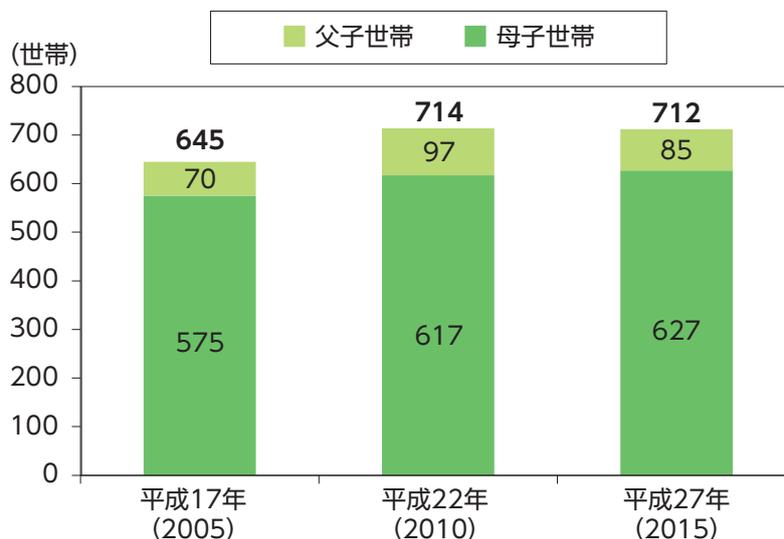




4 ひとり親世帯の状況

本市のひとり親世帯は、増加から横ばい傾向にあり、平成27年に母子世帯は627世帯、父子世帯は85世帯となっています。

■ひとり親世帯の推移

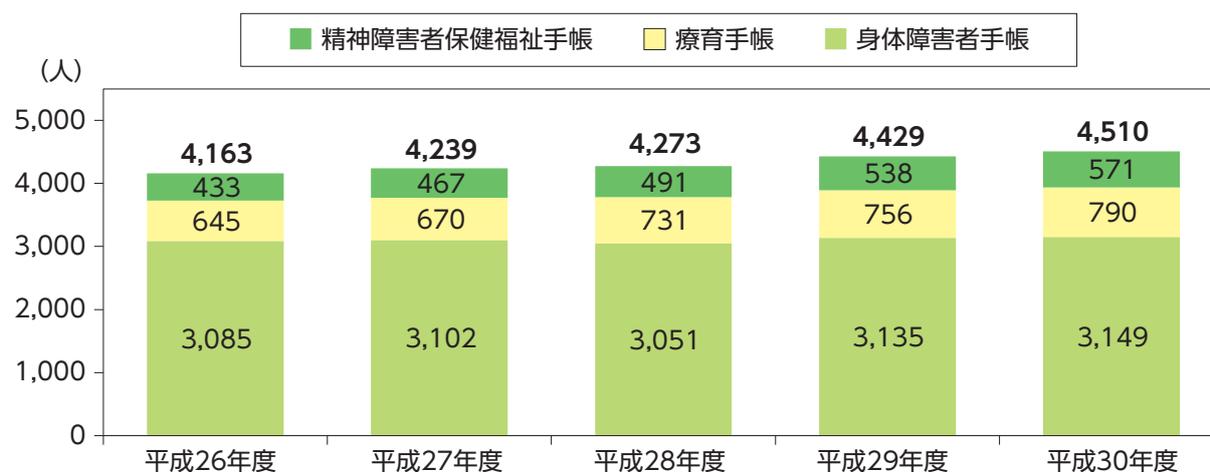


資料：国勢調査（各年10月1日）

5 障害者の状況

高齢化などの影響により、本市の障害者手帳の所持者数は増加傾向にあります。

■手帳所持者数の推移



資料：摂津市

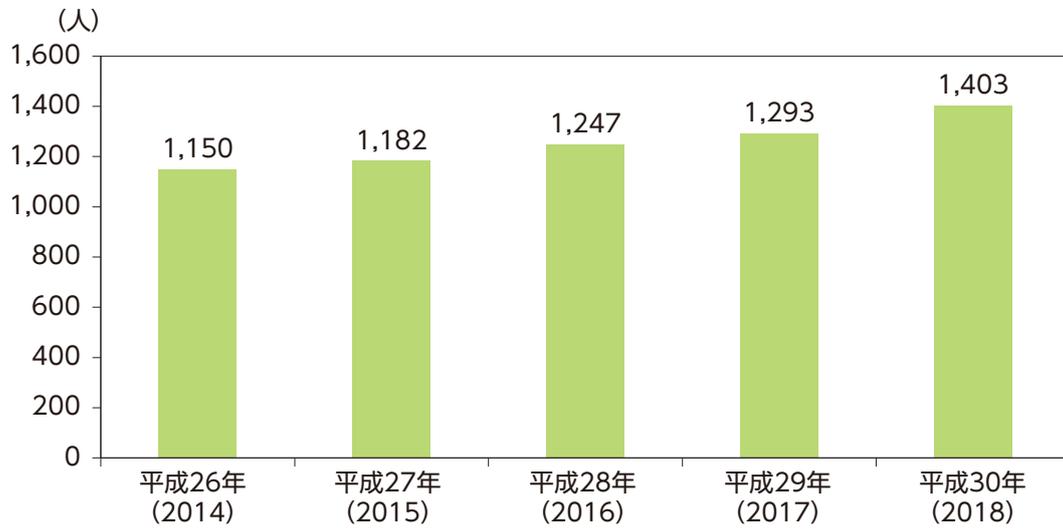




6 外国人人口の推移

本市の外国人の人口は年々増加しており、平成30年は1,403人となっています。

■外国人人口の推移



資料：摂津市





7 小学校区別基本データ

■小学校区別人口の状況

校区	人口	年少人口 0～14歳		生産年齢人口 15～64歳		高齢者人口			
		人	比率※	人	比率※	65～74歳		75歳以上	
						人	比率※	人	比率※
千里丘	7,425	888	12.0%	4,735	63.8%	900	12.1%	902	12.1%
三宅柳田	12,645	1,516	12.0%	8,013	63.4%	1,615	12.8%	1,501	11.9%
摂津	13,837	2,317	16.7%	8,797	63.6%	1,336	9.7%	1,387	10.0%
味舌	10,690	1,203	11.3%	6,371	59.6%	1,404	13.1%	1,712	16.0%
別府	8,908	1,216	13.7%	5,249	58.9%	1,255	14.1%	1,188	13.3%
味生	6,159	791	12.8%	3,626	58.9%	903	14.7%	839	13.6%
烏飼北	8,206	999	12.2%	5,154	62.8%	1,204	14.7%	849	10.3%
烏飼西	8,587	1,213	14.1%	5,331	62.1%	1,090	12.7%	953	11.1%
烏飼	5,549	623	11.2%	3,145	56.7%	884	15.9%	897	16.2%
烏飼東	4,188	450	10.7%	2,529	60.4%	754	18.0%	455	10.9%
合計	86,194	11,216	13.0%	52,950	61.4%	11,345	13.2%	10,683	12.4%

※校区における比率 資料：摂津市「住民基本台帳」（平成31年4月1日）

■小学校区別世帯の状況

校区	世帯数	夫婦高齢者世帯		独居高齢者世帯		母子世帯		父子世帯	
		世帯数	比率※	世帯数	比率※	世帯数	比率※	世帯数	比率※
千里丘	3,778	357	9.4%	618	16.4%	49	1.3%	5	0.1%
三宅柳田	6,367	604	9.5%	1,043	16.4%	115	1.8%	10	0.2%
摂津	6,141	537	8.7%	861	14.0%	125	2.0%	17	0.3%
味舌	5,333	654	12.3%	991	18.6%	96	1.8%	13	0.2%
別府	4,097	525	12.8%	668	16.3%	103	2.5%	13	0.3%
味生	2,997	375	12.5%	554	18.5%	82	2.7%	6	0.2%
烏飼北	3,751	439	11.7%	461	12.3%	109	2.9%	15	0.4%
烏飼西	4,012	436	10.9%	590	14.7%	106	2.6%	14	0.3%
烏飼	2,548	344	13.5%	515	20.2%	63	2.5%	6	0.2%
烏飼東	1,906	265	13.9%	285	15.0%	48	2.5%	5	0.3%
合計	40,930	4,536	11.1%	6,586	16.1%	896	2.2%	104	0.3%

※校区における比率 資料：摂津市「住民基本台帳」（平成31年4月1日）

・高齢者世帯とは、65歳以上の者で構成される世帯

・「母子世帯」及び「父子世帯」とは、18歳未満の子と母親または父親で構成される世帯

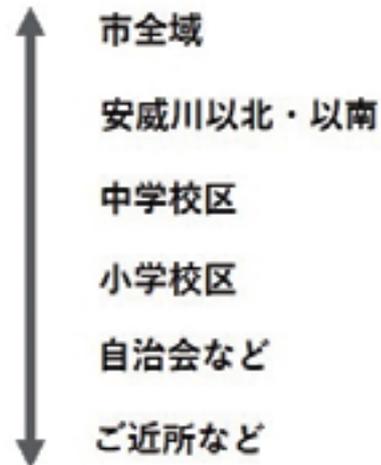




8 摂津市の福祉圏域

地域や暮らしの課題は地域によって現れ方に違いがあるため、その地域で暮らす住民のニーズを十分に踏まえながら、施策を展開する必要があります。

そのため、各福祉計画において、基本的なサービス圏域を定め、圏域ごとのニーズ等を踏まえた、きめ細かな取組みを進めていきます。





アンケート調査からみる現状と課題

1 第4期摂津市地域福祉計画策定に係る実態調査の実施概要

第4期摂津市地域福祉計画の策定にあたり、市民の地域福祉活動などの意識や実態を把握し、計画の策定に向けた基礎資料とするためアンケート調査を実施しました。

- 調査対象者：市内在住18歳以上の市民2,000人（無作為抽出）
- 調査期間：令和元年10月4日（金）～10月21日（月）
- 調査方法：郵送による配布・回収（住民基本台帳による無作為抽出法）
- 有効回収数：727件（有効回答率：36.4%）

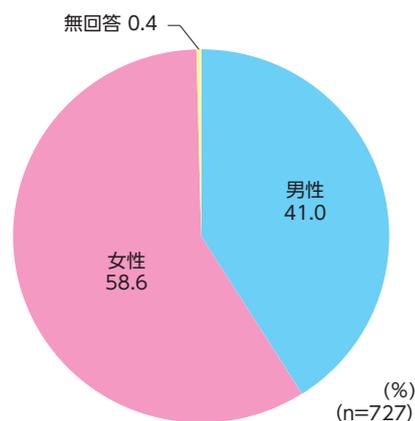
2 第4期摂津市地域福祉計画策定に係る実態調査の結果

① あなたご自身やご家族について

1. 性別

問1 あなたの性別をお答えください。

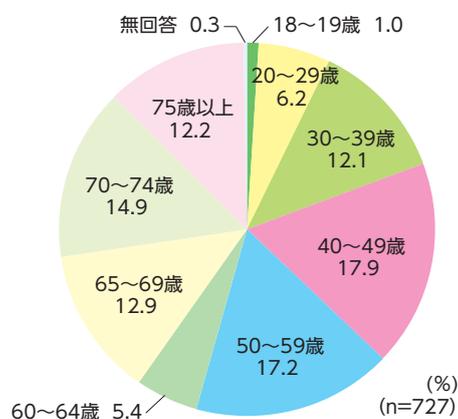
回答者の性別は、「男性」が41.0%「女性」が58.6%となっています。



2. 年齢

問2 あなたの年齢は。

回答者の年齢は、「40～49歳」が17.9%と最も高く、次いで「50～59歳」が17.2%、「70～74歳」が14.9%となっています。

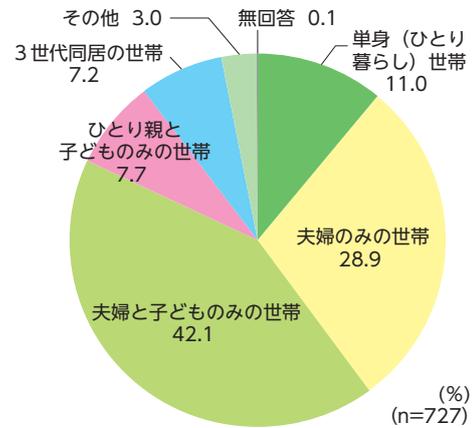




3. 世帯構成

問3 現在の世帯構成はどれにあてはまりますか。

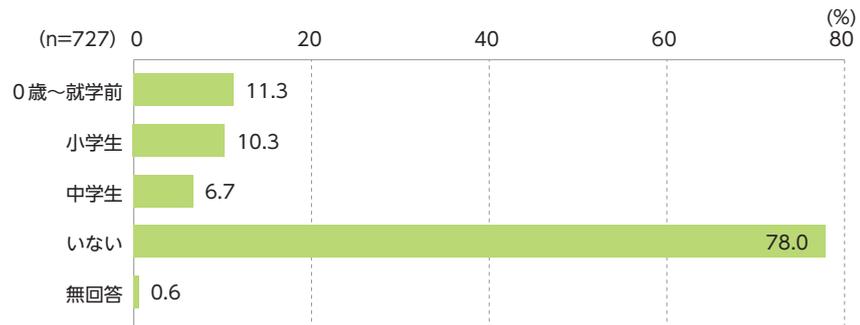
現在の世帯構成は、「夫婦と子どものみの世帯」が42.1%と最も高く、次いで「夫婦のみの世帯」が28.9%、「単身（ひとり暮らし）世帯」が11.0%となっています。



4. 子どもの状況

問4 ご家族の中に、中学生までの年齢のお子さんがいますか。[複数回答]

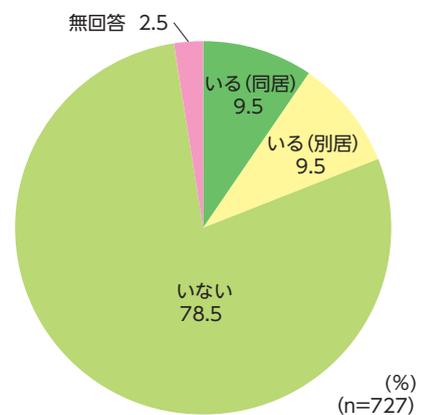
家族の中に中学生までの年齢の子どもがいる割合は、「0歳～就学前」が11.3%、「小学生」が10.3%、「中学生」が6.7%となっており、「いない」が78.0%となっています。



5. 在宅介護が必要な親族の有無

問5 ご親族の中に、病気や障害、高齢のため、在宅で介護などが必要な人はいますか。

親族の中に、在宅で介護などが必要な人がいる割合は、全体の約2割（19.0%）となっており、同居・別居ともに9.5%となっています。



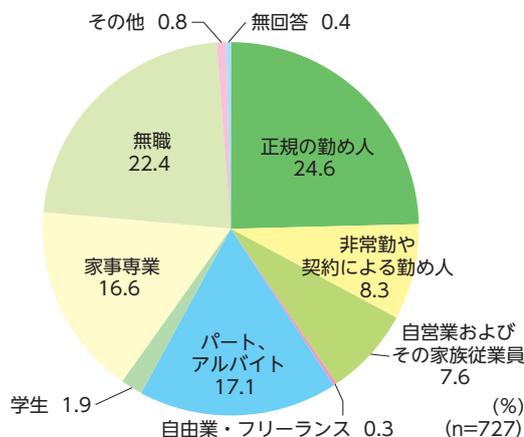


6. 職業

問6 あなたの現在の職業はどれですか。

職業は、「正規の勤め人」が24.6%と最も多く、次いで「パート、アルバイト」が17.1%などとなっています。

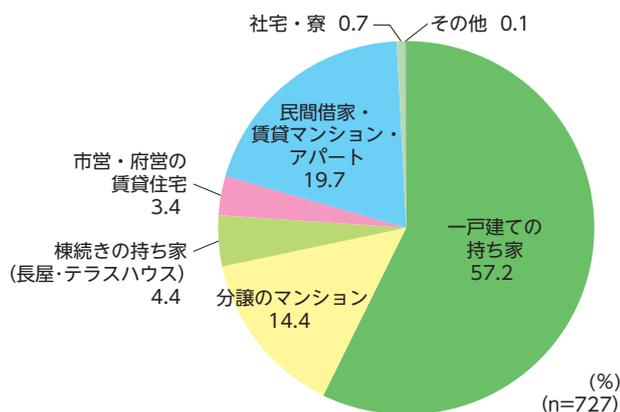
また、「無職」が22.4%、「家事専業」が16.6%となっています。



7. 住居形態

問7 現在の住居の形態は、どれにあてはまりますか。

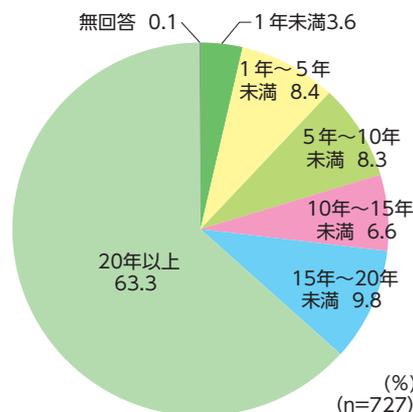
現在の住居の形態は、「一戸建ての持ち家」が過半数（57.2%）を占めており、次いで「民間借家・賃貸マンション・アパート」が19.7%、「分譲のマンション」が14.4%となっています。



8. 居住年数

問8 摂津市に何年お住まいですか。

摂津市に住んでいる年数は、「20年以上」が63.3%を占めています。一方、5年未満の割合は12.0%となっています。

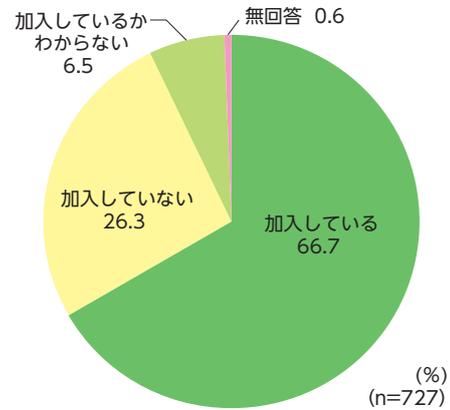




9. 自治会への加入状況

問9 あなたの世帯は、自治会に加入していますか。

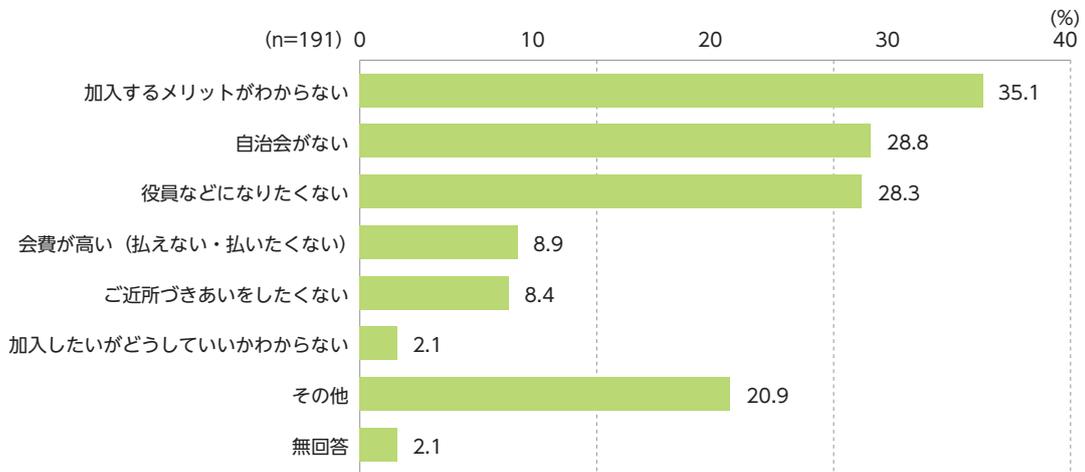
世帯の自治会への加入の有無は、「加入している」が66.7%に対し、「加入していない」が26.3%、「加入しているかわからない」が6.5%となっています。



問9で「加入していない」と回答した方にお聞きします。

問9-1 自治会に加入していない理由は何ですか。[複数回答]

自治会に加入していないと回答した世帯の理由としては、「加入するメリットがわからない」が35.1%と最も高く、次いで「自治会がない」が28.8%、「役員などになりたくない」が28.3%となっています。

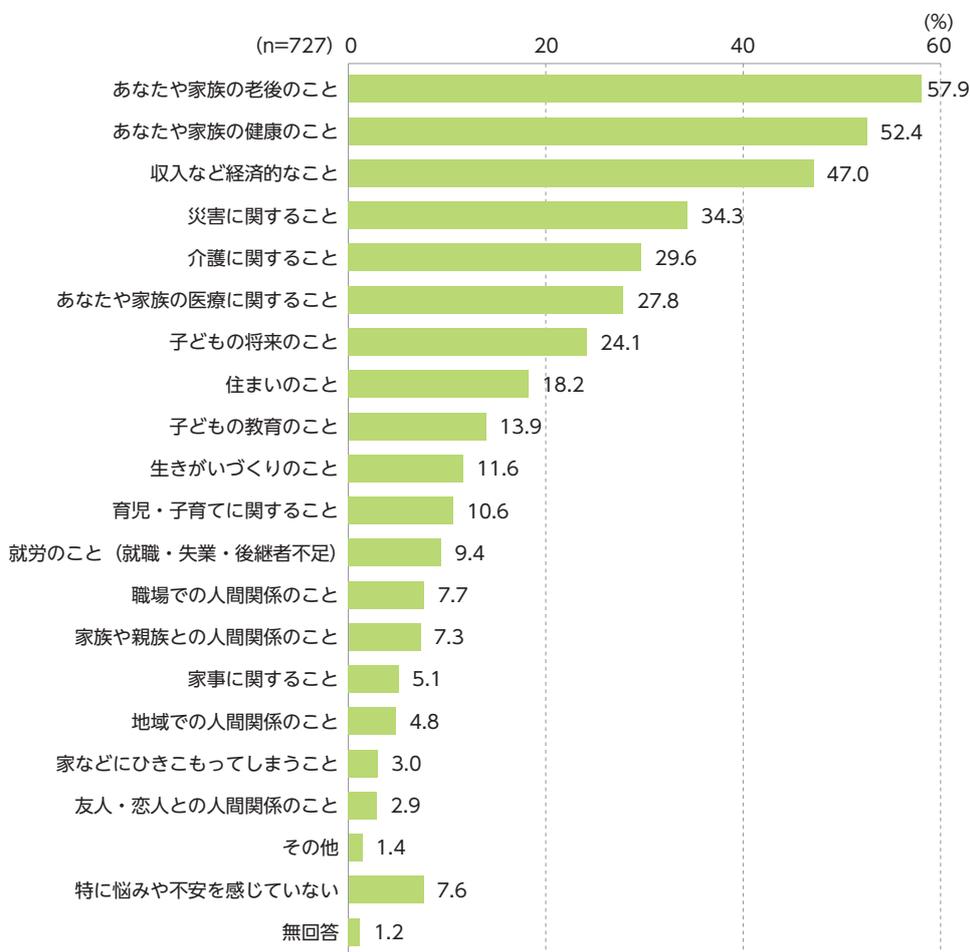




10. 日頃の悩みや不安

問10 あなたは日頃、どのような悩みや不安などを感じていますか。[複数回答]

日頃感じている悩みや不安は、「あなたや家族の老後のこと」が57.9%と最も高く、次いで「あなたや家族の健康のこと」が52.4%、「収入など経済的なこと」が47.0%、「災害に関すること」が34.3%、「介護に関すること」が29.6%となっています。

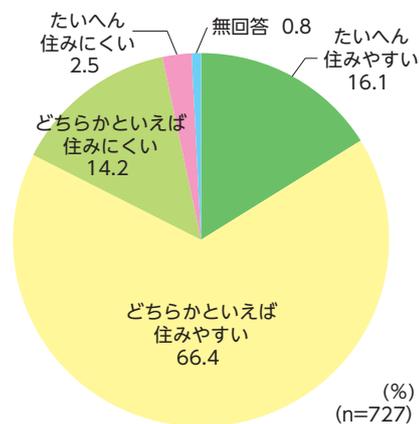


② お住まいの地域について

1. 居住地域の住みやすさ

問11 お住まいの地域は、あなたにとって住みやすいですか。

住まいの地域の住みやすさは、「どちらかといえば住みやすい」が66.4%と最も高く、次いで高い「たいへん住みやすい」(16.1%)を合わせると、「住みやすい」という割合が82.5%を占めています。

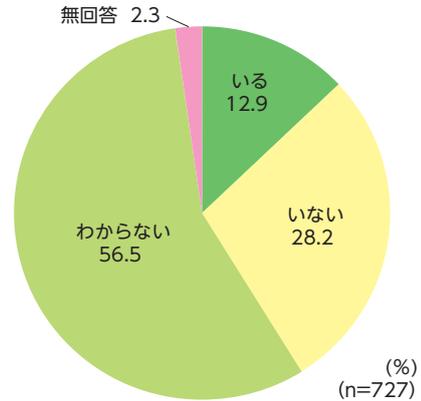




2. 地域で支援や手助け等が必要な人の状況

問12 お住まいの地域で、周囲からの特別な支援や手助けが必要と感じる人はいますか。

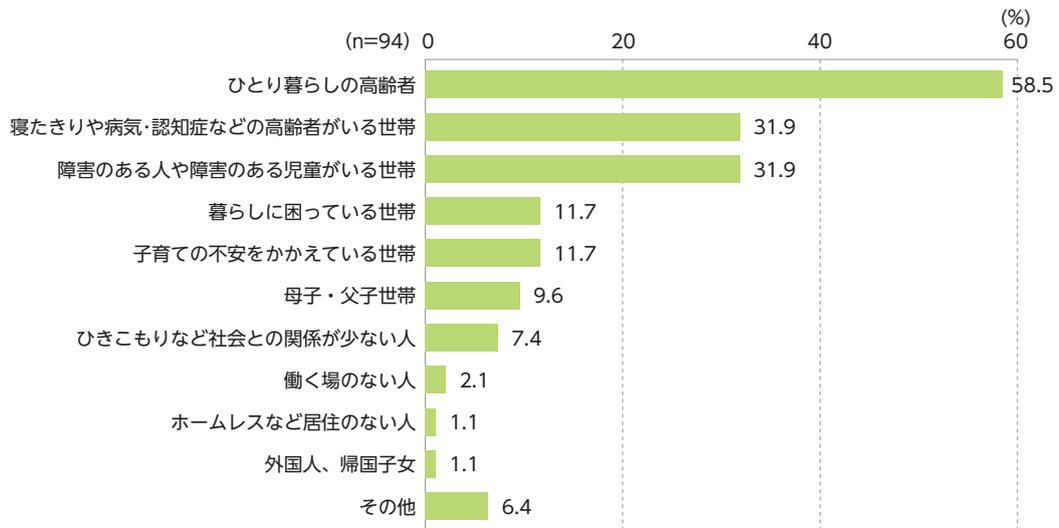
住んでいる地域で、周囲からの特別な支援や手助けが必要と感じる人が「いる」という割合は12.9%となっています。



問12で「いる」と回答した方にお聞きします。

問12-1 それはどのような人たちですか。[複数回答]

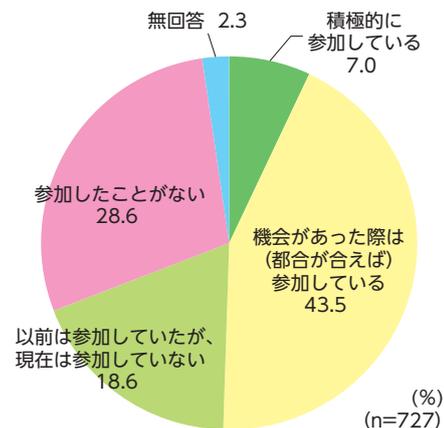
具体的に周囲からの支援等が必要な人としては、「ひとり暮らしの高齢者」が58.5%と最も高く、次いで「寝たきりや病気・認知症などの高齢者がいる世帯」、「障害のある人や障害のある児童がいる世帯」がともに31.9%となっています。



3. 地域行事・活動への参加状況

問13 日頃、地域で行われている行事や活動に参加していますか。

地域で行われている行事や活動への参加状況は、「機会があった際は（都合が合えば）参加している」が43.5%と最も高く、「積極的に参加している」（7.0%）を合わせると、「現在参加している」という割合が約半数（50.5%）となっています。一方、「参加したことがない」は28.6%となっています。

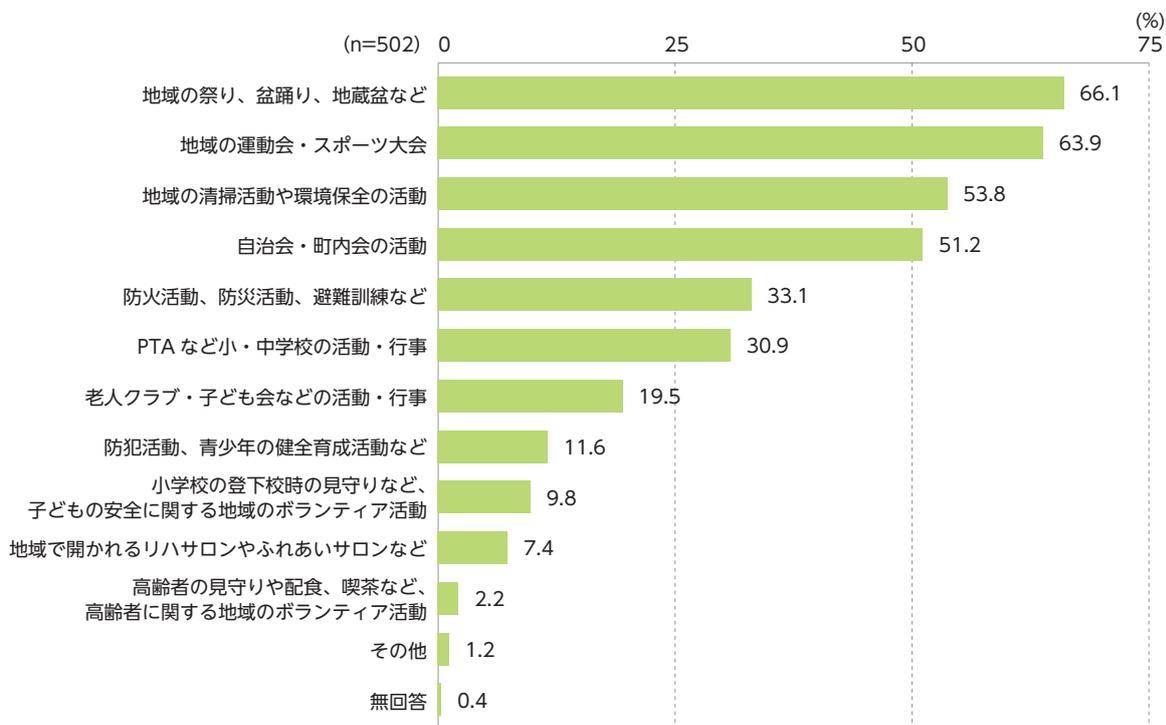




問13で“参加している”または“以前は参加していた”と回答した方にお聞きします。

問13-1 どのような行事や活動に参加したことがありますか。[複数回答]

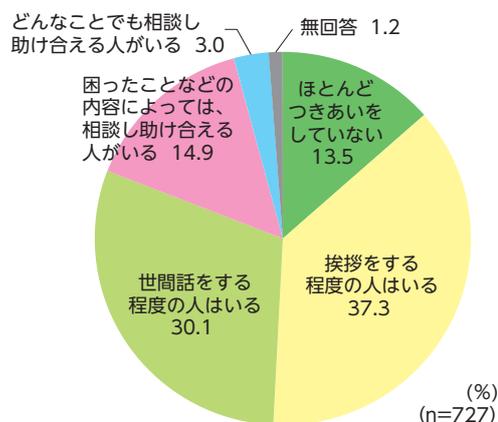
地域行事や活動に参加している、または参加したことがあると回答した人の具体的な行事・活動としては、「地域の祭り、盆踊り、地蔵盆など」が66.1%と最も高く、次いで「地域の運動会・スポーツ大会」が63.9%、「地域の清掃活動や環境保全の活動」が53.8%、「自治会・町内会の活動」が51.2%となっています。



4. 近所づきあいの程度

問14 あなたは、ふだん、ご近所の方との程度おつきあいをしていますか。

近所づきあいの程度は、「挨拶をする程度の人はいる」が37.3%と最も高く、次いで「世間話をする程度の人はいる」が30.1%となっています。一方「ほとんどつきあいをしていない」が13.5%みられます。

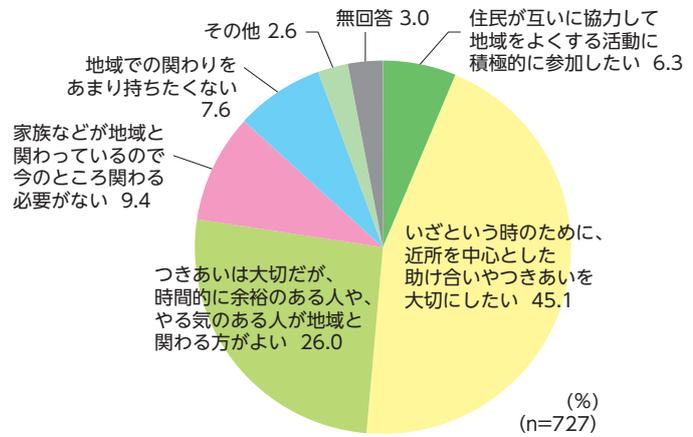




5. 地域における人との関わり方

問15 地域における人との関わりに対して、あなたはどのようにお考えですか。

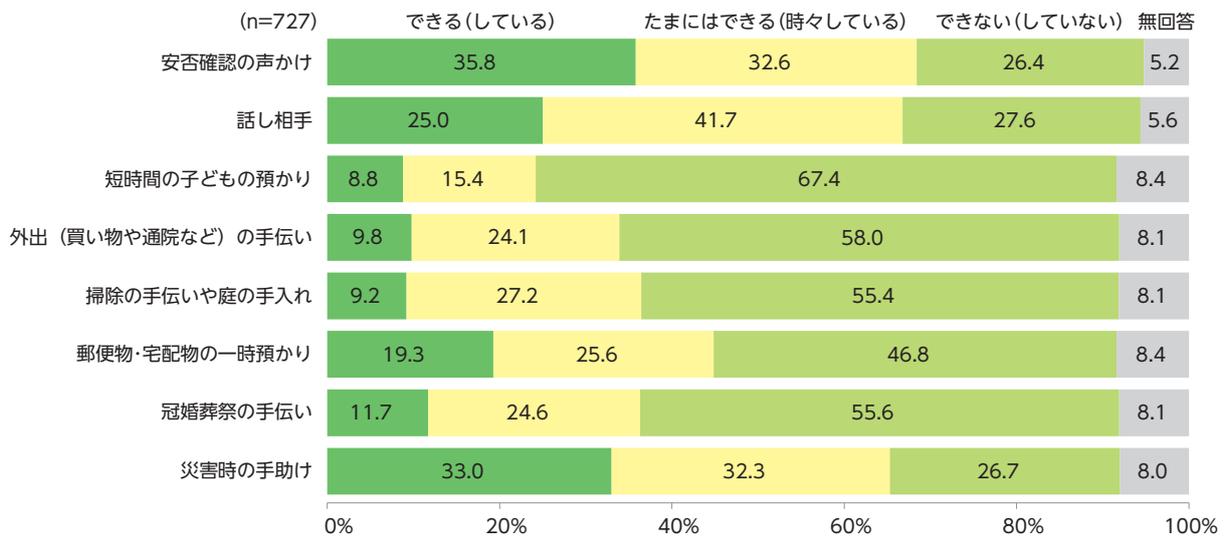
地域における人との関わりに対する考えに最も近いものは、「いざという時のために、近所を中心とした助け合いやつきあいを大切にしたい」が45.1%と最も高く、次いで「つきあいは大切だが、時間的に余裕のある人や、やる気のある人が地域と関わる方がよい」が26.0%となっています。



6. 自身が手助けできること

問16 近所の人から以下のことを頼まれた場合、あなたはできると思えますか、もしくはすでにしていますか。

近所の人からの頼まれごとに対して手助けできることとして8項目についてたずねたところ、「手助けできる」という割合（「できる（している）」「たまにはできる（時々している）」の計）が、「安否確認の声かけ」で68.4%、「話し相手」で66.7%、「災害時の手助け」で65.3%と、いずれも6割以上を占めています。一方、「できない（していない）」が「短時間の子どもの預かり」で67.4%と最も高くなっています。

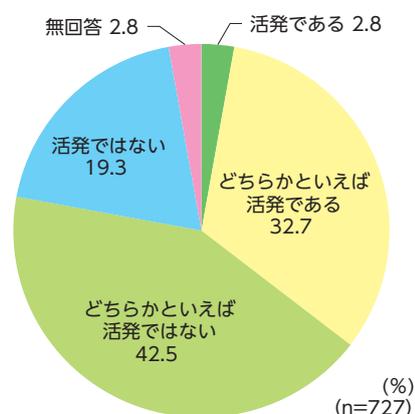




7. 居住地域での住民の交流状況

問17 お住まいの地域の住民相互の交流などについて、どのように感じますか。

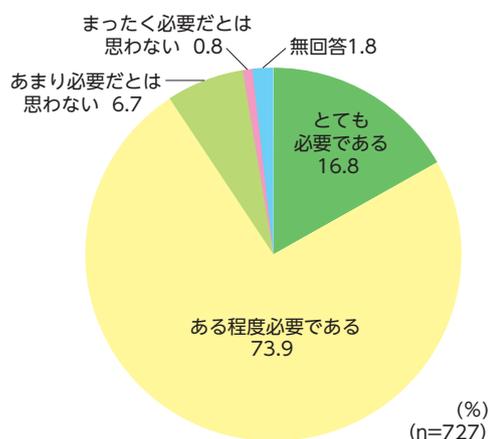
住んでいる地域の住民相互の交流の状況は、「どちらかといえば活発ではない」が42.5%と最も高く、「活発ではない」(19.3%)を合わせると61.8%を占めています。



8. 地域での助け合いの必要性

問18 地域における支えあいや助け合いの必要性について、どのように考えますか。

地域における支えあいや助け合いの必要性は、「ある程度必要である」が73.9%と最も高く、次いで高い「とても必要である」(16.8%)を合わせると90.7%を占めています。

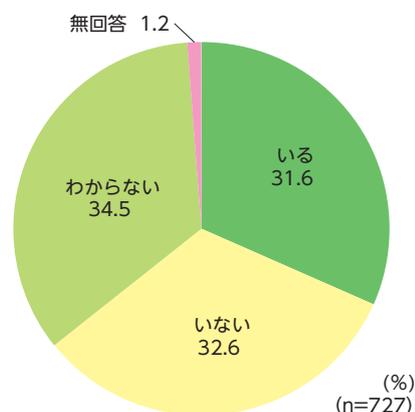


③ 災害時の地域での対応について

1. 災害時に家族以外で手助けしてくれる人の有無

問19 自宅にいる時に地震などの災害が起きた場合、地域の人（家族以外）で手助けをお願いできる人はいますか。

災害時に家族以外で手助けをお願いできる人の有無は、「いる」が31.6%に対し、「いない」が32.6%となっています。

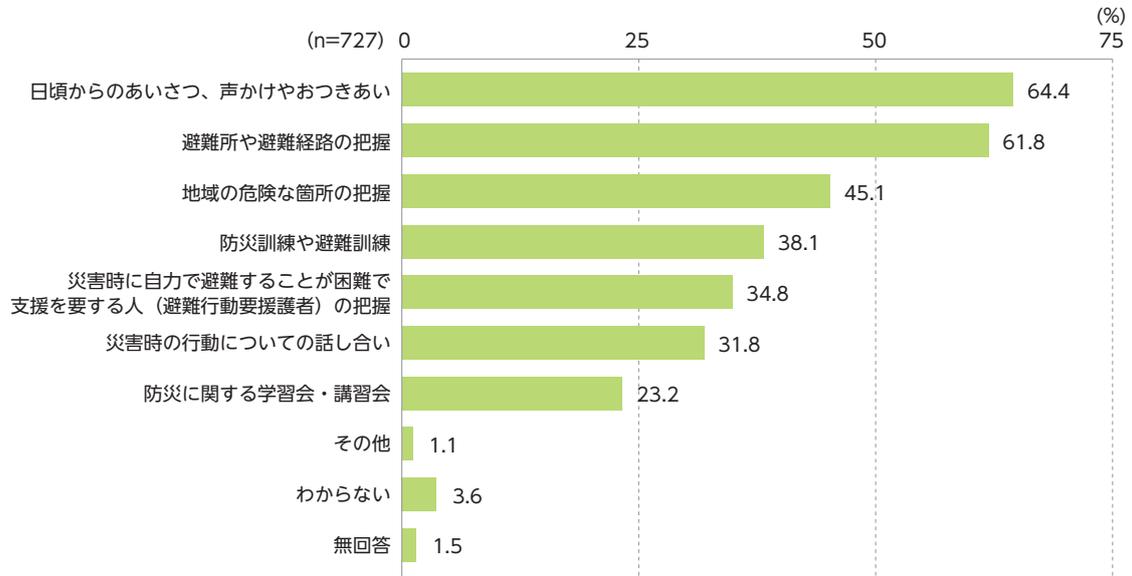




2. 災害時の備えとして重要な取り組み

問20 災害時の備えとして、日頃から地域においてどのような取り組みが重要だと思いますか。[複数回答]

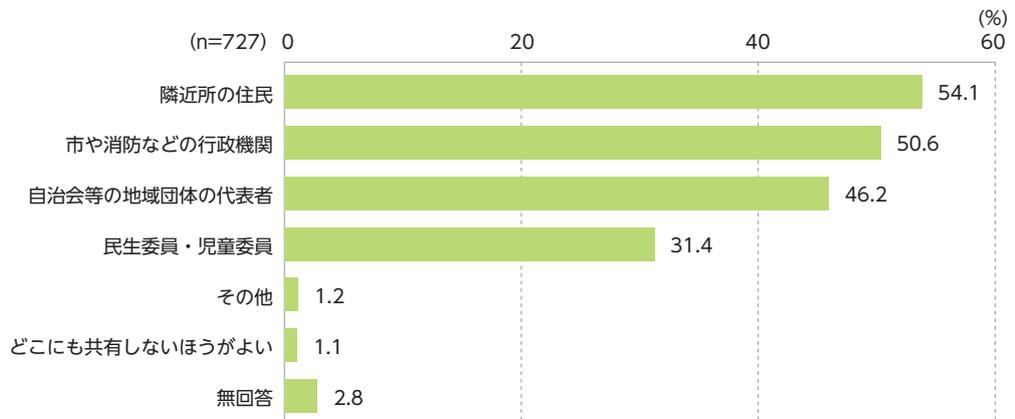
災害時の備えとして、日頃から地域において重要と考える取り組みは、「日頃からのあいさつ、声かけやおつきあい」が64.4%、「避難所や避難経路の把握」が61.8%と、ともに6割以上と高くなっています。



3. 災害時要援護者（避難行動要支援者）に関する情報共有の範囲

問21 災害時の避難の手助けや日常の見守りが必要な人の情報を地域で共有することについて、どの範囲（組織）までなら共有してもよいとお考えですか。[複数回答]

災害時の避難の手助けや日常の見守りが必要な人の情報を地域で共有することについて、共有してもよいと考える範囲（組織）は、「隣近所の住民」が54.1%と最も高く、次いで「市や消防などの行政機関」が50.6%、「自治会等の地域団体の代表者」が46.2%となっています。

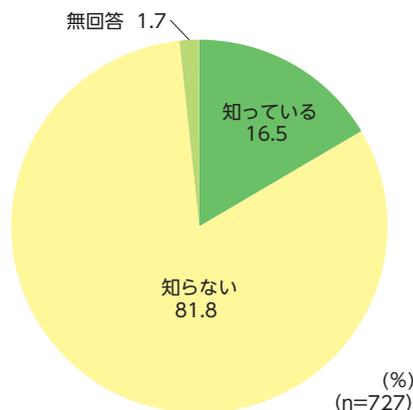




4. 摂津市災害時要援護者支援制度の認知度

問22 あなたは「摂津市災害時要援護者支援制度」を知っていますか。

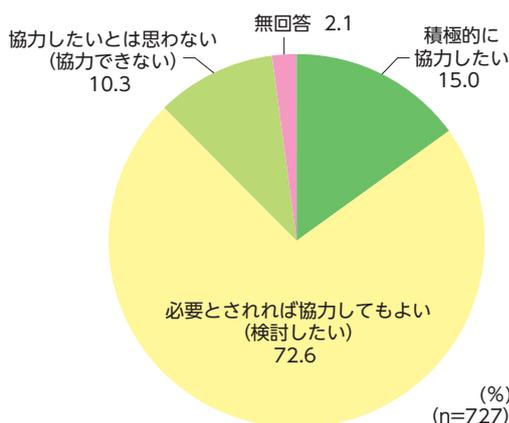
摂津市災害時要援護者支援制度について、「知っている」は全体の16.5%となっています。



5. 災害時要援護者（避難行動要支援者）への協力意向

問23 災害時に自力での避難が困難な方（避難行動要支援者）への手助けや声かけ等の支援に関して、あなたは協力できますか。

災害時に自力での避難が困難な方（避難行動要支援者）への手助けや声かけ等の支援への協力意向は、「必要とされれば協力してもよい（検討したい）」が72.6%を占めており、「積極的に協力したい」は15.0%となっています。

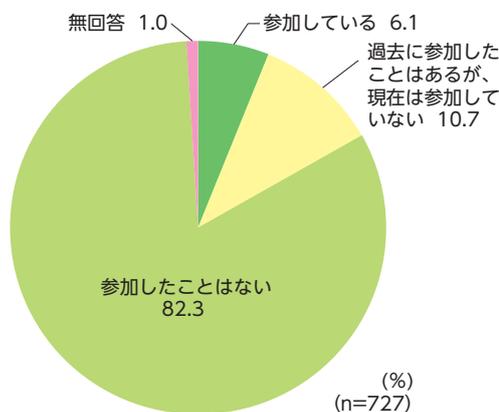


④ ボランティア活動や NPO 活動などについて

1. ボランティア活動等への参加経験と参加目的

問24 あなたはこれまで、ボランティアや NPO などの社会貢献・地域貢献の活動に参加したことがありますか。

ボランティアや NPO などの社会貢献・地域貢献の活動への参加経験がある割合は、全体の16.8%にとどまっており、現在も参加している割合は6.1%となっています。

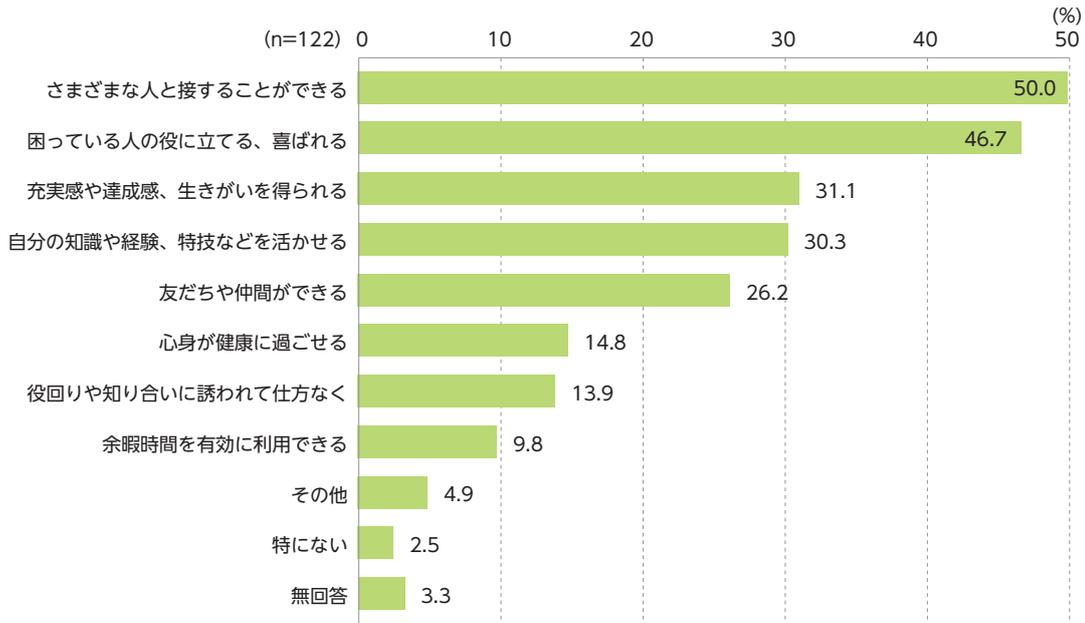




問24で「参加している」「過去に参加したことはあるが、現在は参加していない」と回答した方にお聞きします。

問24-1 ボランティア活動等にはどういった目的で参加していますか（参加しましたか）。
[複数回答]

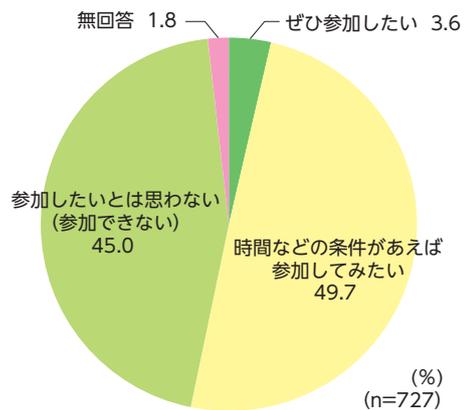
ボランティア活動等に参加経験があると回答した人の参加目的としては、「さまざまな人と接することができる」が50.0%と最も高く、次いで「困っている人の役に立てる、喜ばれる」が46.7%、「充実感や達成感、生きがいを得られる」が31.1%となっています。



2. ボランティア活動等への参加意向等

問25 今後、ボランティアやNPOなどの社会貢献・地域貢献の活動に参加してみたい（今後も参加したい）と思いますか。

今後のボランティアやNPOなどの社会貢献・地域貢献の活動への参加意向は、「時間などの条件があれば参加してみたい」が49.7%と最も高く、「ぜひ参加したい」(3.6%)を合わせると、“参加意向がある”という割合が半数以上(53.3%)を占めています。

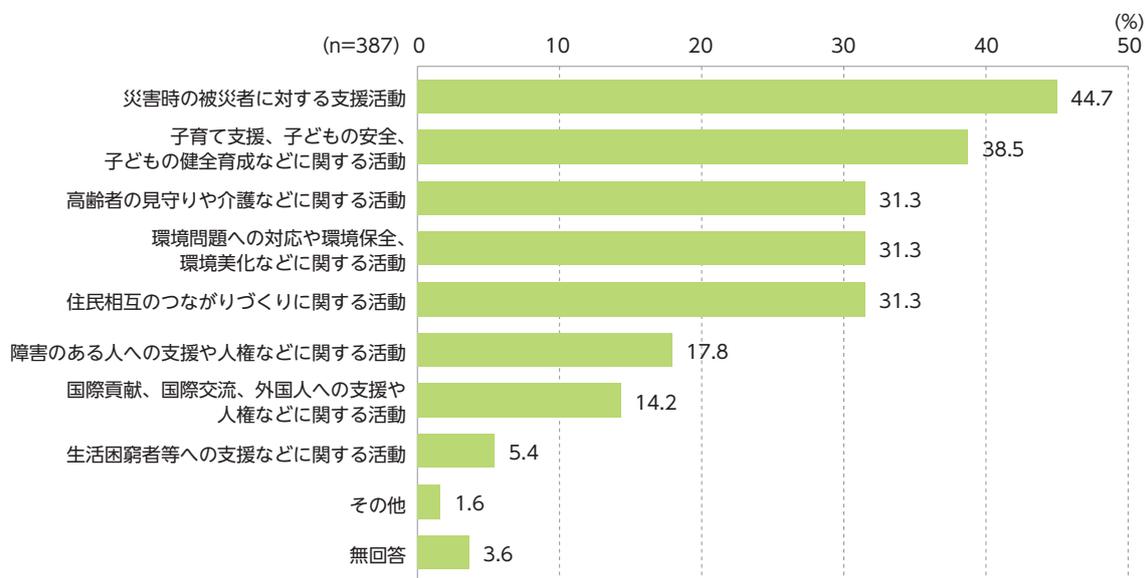




問25で「ぜひ参加したい」「時間などの条件があえば参加してみたい」と回答した方にお聞きします。

問25-1 どのような内容の活動に参加したいと思いますか。[複数回答]

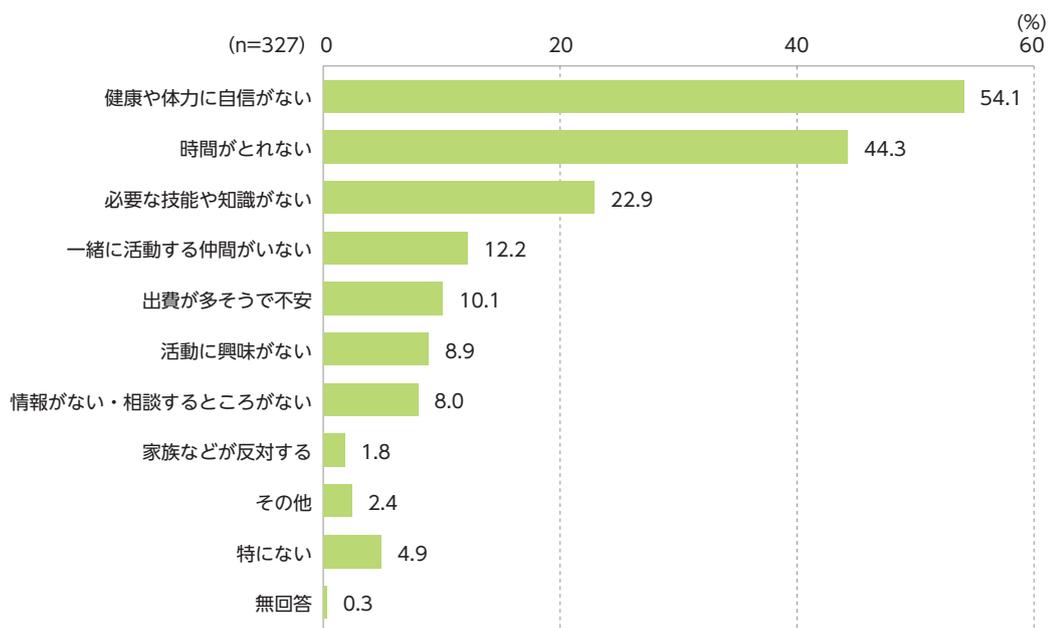
今後、ボランティア活動等に参加したい（参加してみたい）と回答した人の希望する活動内容としては、「災害時の被災者に対する支援活動」が44.7%と最も高く、次いで「子育て支援、子どもの安全、子どもの健全育成などに関する活動」が38.5%となっています。



問25で「参加したいとは思わない」と回答した方にお聞きします。

問25-2 ボランティアやNPOなどの社会貢献・地域貢献の活動に参加したいと思わない理由は何ですか。[複数回答]

ボランティア活動等に参加したいとは思わないと回答した人の理由としては、「健康や体力に自信がない」が54.1%と最も高く、次いで「時間がとれない」が44.3%となっています。



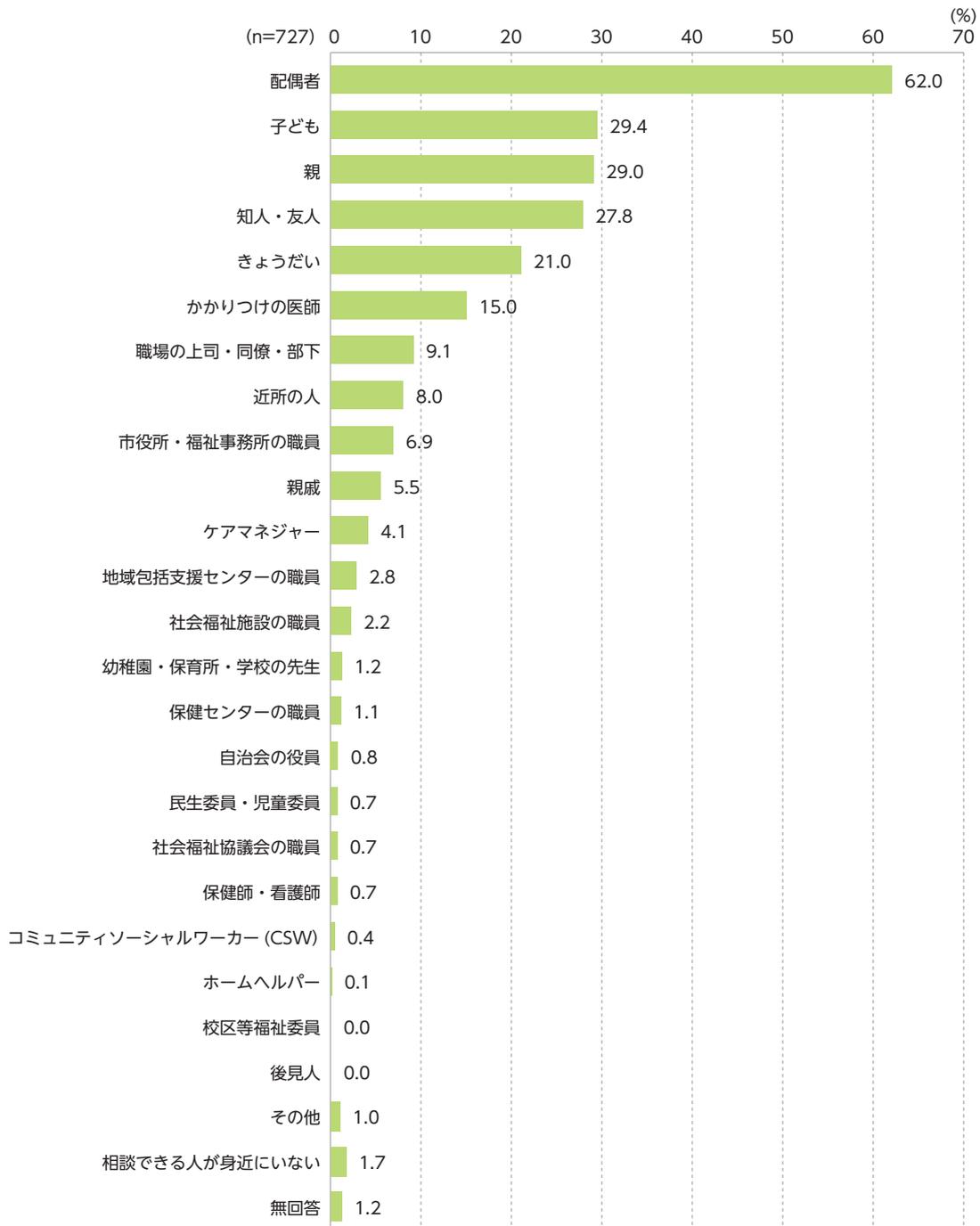


⑤ 地域福祉の基盤について

1. 主な相談先

問26 日頃、暮らしや医療・福祉のことで相談するのは主にどなたですか。[複数回答(3つまで)]

暮らしや医療・福祉のことで主な相談先は、「配偶者」が62.0%と最も高く、次いで「子ども」が29.4%、「親」が29.0%、「知人・友人」が27.8%、「きょうだい」が21.0%となっています。

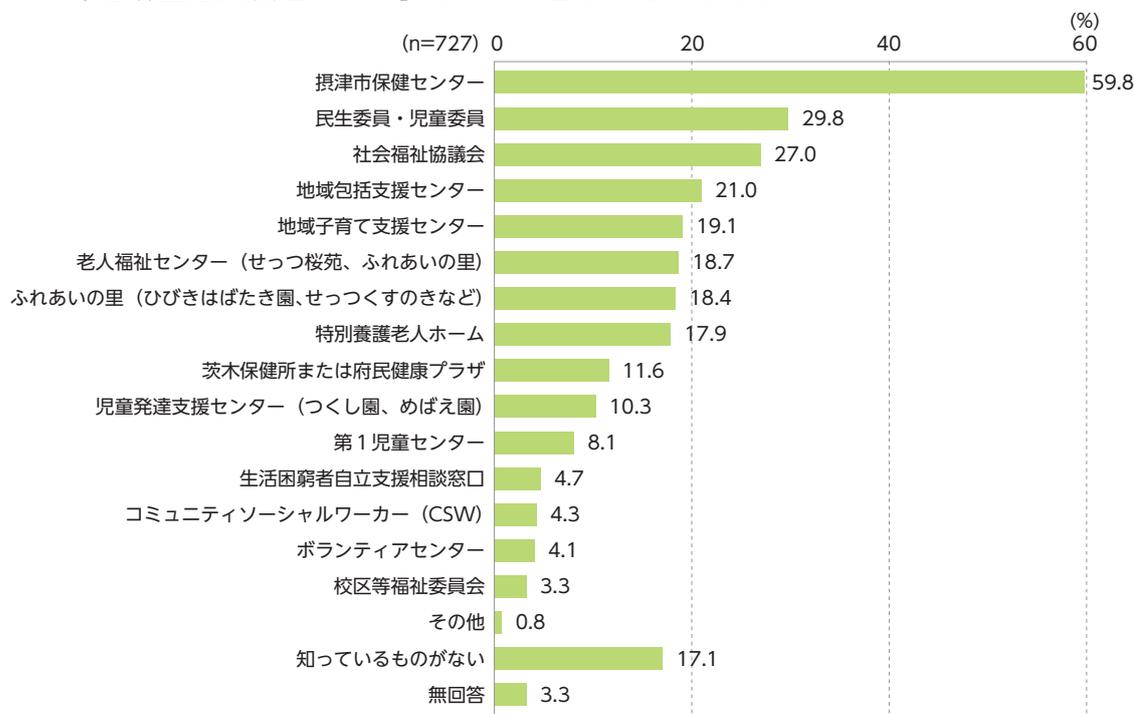




2. 相談機関の認知度

問27 あなたが、暮らしや健康、福祉に関わる機関や施設、相談窓口で知っているものはどれですか。[複数回答]

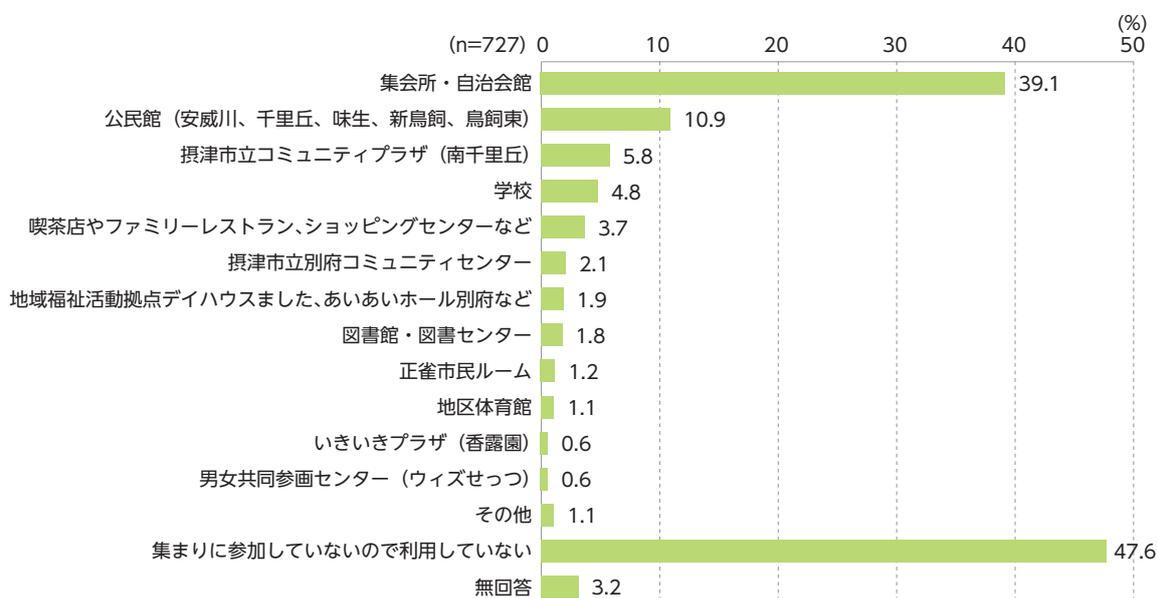
暮らしや健康、福祉に関わる機関や施設、相談窓口の認知度は、「摂津市保健センター」が59.8%と最も高く、次いで「民生委員・児童委員」が29.8%、「社会福祉協議会」が27.0%、「地域包括支援センター」が21.0%となっています。



3. 地域で集う場所

問28 日頃、地域で集まったり話し合ったりする場所はどこですか。[複数回答]

日頃、地域で集まったり話し合ったりする場所がある人の割合は全体の約半数 (49.2%) となっており、具体的な場所は、「集会所・自治会館」が39.1%と最も高く、次いで「公民館 (安威川、千里丘、味生、新鳥飼、鳥飼東)」が10.9%となっています。

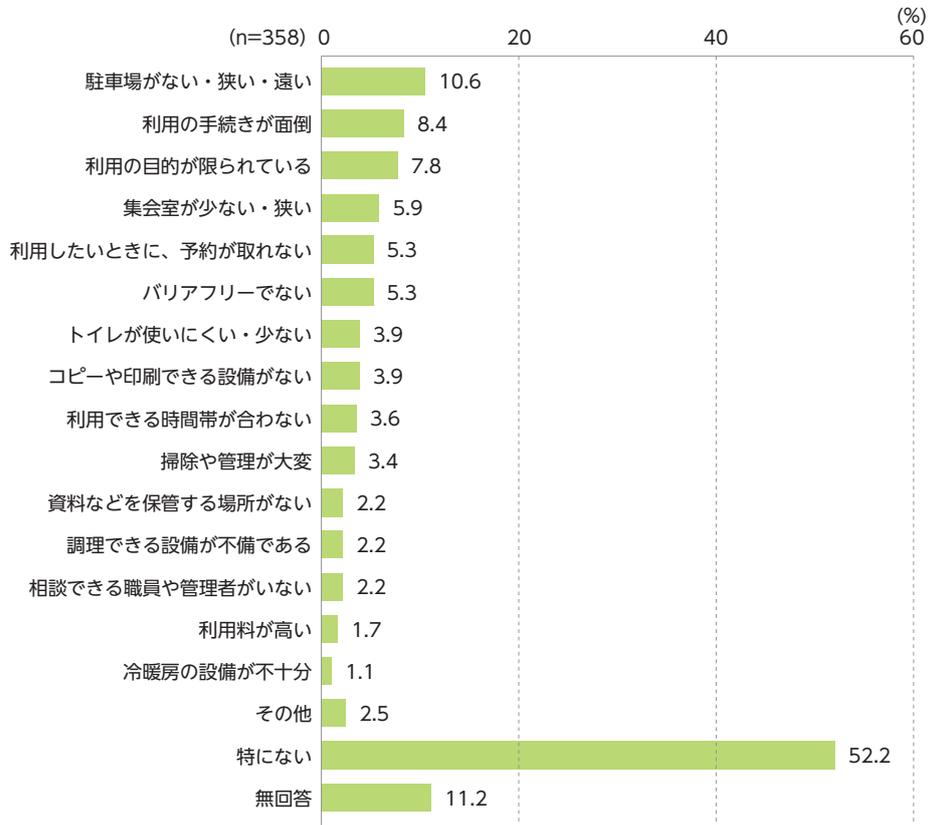




問28で地域で集う場所のいずれかに○をつけた方にお聞きします。

問28-1 地域で集まったり話し合ったりする場所について、不便を感じたことは何ですか。[複数回答]

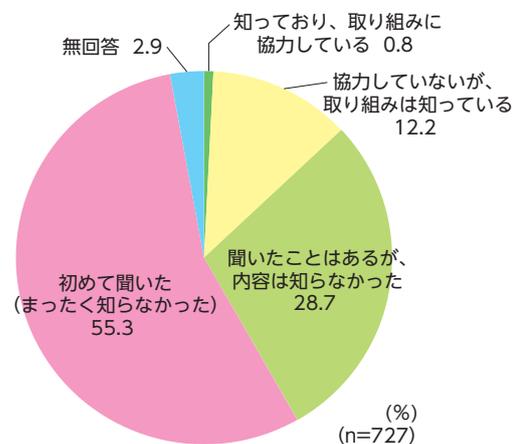
地域で集まったり話し合ったりする場所に不便を感じたことがある人は36.6%となっており、具体的には、「駐車場がない・狭い・遠い」が10.6%と高く、次いで「利用の手続きが面倒」が8.4%、「利用の目的が限られている」が7.8%となっています。



⑥ 再犯防止の取り組みについて
1. 再犯防止の取り組みの認知度

問29 あなたは、「再犯防止についての取り組み」が進められていることをご存知でしたか。

再犯防止の取り組みについての認知度は、「初めて聞いた（まったく知らなかった）」が過半数（55.3%）を占めています。一方、「知っている」という割合（「知っており、取り組みに協力している」「協力していないが、取り組みは知っている」の計）は13.0%にとどまっています。

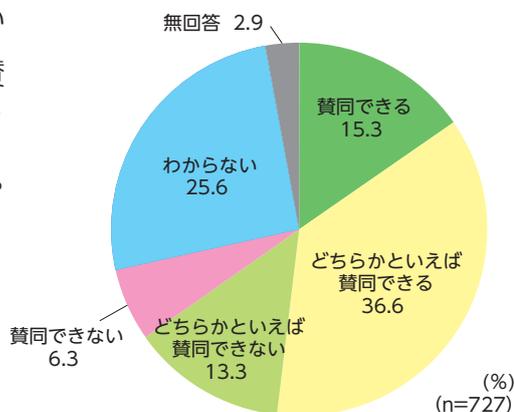




2. 再犯防止の取り組みに対する考え

問30 再犯防止のためには、「犯罪をした人を社会から排除・孤立させるのではなく、就労・就学や住まいの確保、偏見の排除など、その人が再び社会で暮らしていくための環境を整えることが重要である」という考えについて、あなたは率直にどう思いますか。

再犯防止のための考え方について、「どちらかといえば賛同できる」が36.6%と最も高く、「賛同できる」(15.3%)を合わせると、「賛同できる」という割合が半数以上(51.9%)となっています。

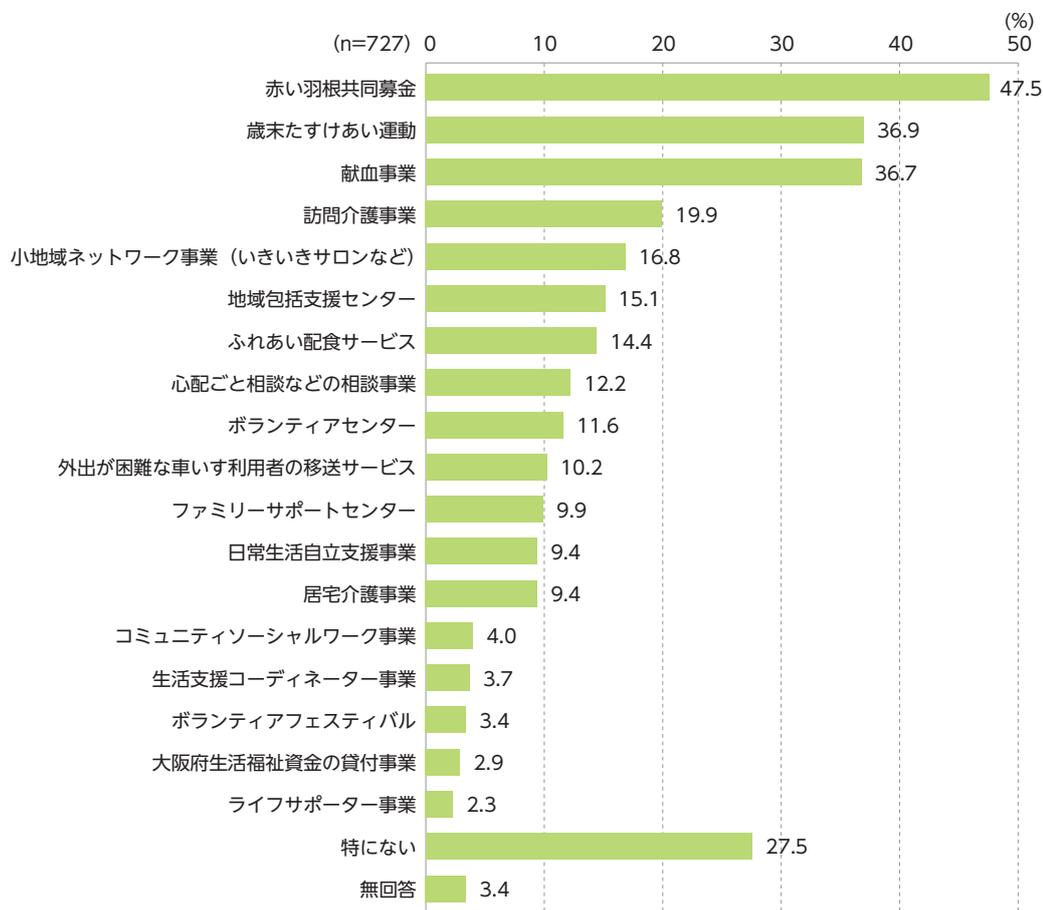


⑦ 摂津市社会福祉協議会について

1. 摂津市社会福祉協議会が実施する事業の認知度

問31 摂津市社会福祉協議会が実施している事業等について知っているものはどれですか。[複数回答]

摂津市社会福祉協議会が実施している事業等について知っているものは、「赤い羽根共同募金」が47.5%と最も高く、次いで「歳末たすけあい運動」が36.9%、「献血事業」が36.7%となっています。一方、「特にない」が27.5%みられます。



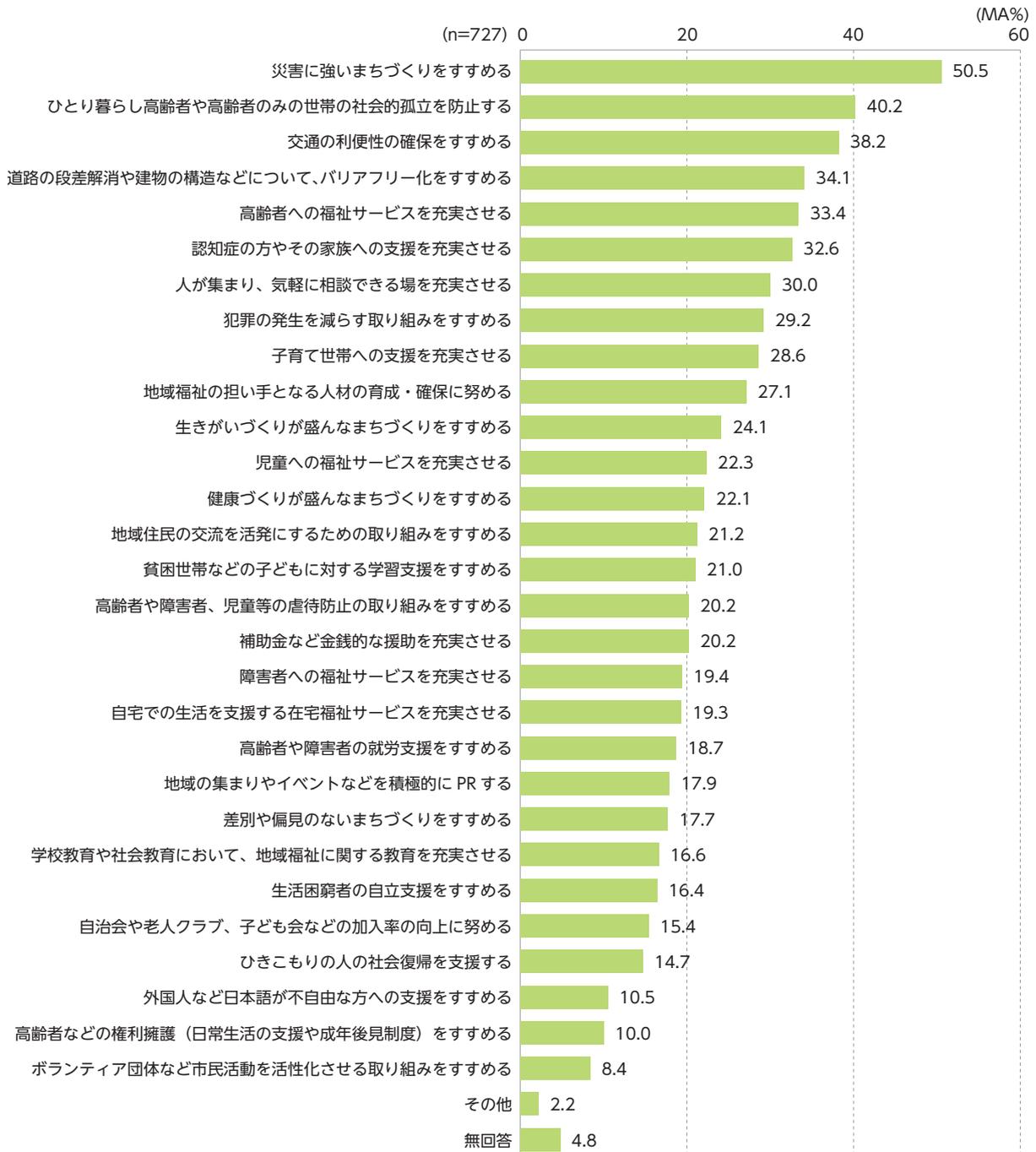


⑧ 地域福祉の活動と取り組みについて

1. 重要と考える福祉施策

問32 摂津市の福祉に関する施策を今後、より充実していくために、あなたが特に重要と考える取組みは何ですか。[複数回答]

摂津市の福祉に関する施策をより充実していくために特に重要と考える取組みは、「災害に強いまちづくりをすすめる」が50.5%と最も高く、次いで「ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯の社会的孤立を防止する」が40.2%、「交通の利便性の確保をすすめる」が38.2%、「道路の段差解消や建物の構造などについて、バリアフリー化をすすめる」が34.1%、「高齢者への福祉サービスを充実させる」が33.4%となっています。





地域福祉懇談会からみる課題等

地域の現状や今後の地域課題等に関するお考えやご意見等を聴くために、校区等福祉委員会や自治会などの地域福祉に関する活動をされている住民のみなさまにお集まりいただき、「地域福祉懇談会」を開催しました。

■平成28年度 地域福祉懇談会

開催状況	平成29年2月2日（木）～平成29年3月8日（水） 各地域の活動拠点等で実施 計12回開催 延べ参加者数175名 ☆各地区で実施しているサロンやリハサロンの後に開催。主な参加者は校区等福祉委員会の人たちで、近隣の自治会長にも参加していただいた。
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会加入率の低下をはじめ、校区等福祉委員、民生委員など担い手が不足している。 ・高齢化により役員のなり手が不足している。 ・若年層の自治会離れ、自治会に加入することのメリットがない。 ・集会所は身近な場所にあるが、設備の維持管理や光熱水費などの費用がかかる。 ・地域福祉活動拠点は管理運営を校区等福祉委員会で行わなければならず大変。中学校区に一つのために、利用するのに遠い。 など

■平成29年度 地域福祉懇談会

開催状況	平成30年2月7日（水）～平成30年2月22日（木） 各地域の活動拠点等で実施 計6回開催 延べ参加者数94名 ☆夜間に開催。PTA や青少年指導員などにも参加をお願いするなど、今までの参加者だけではなく、若年層が参加しやすいよう工夫を凝らした。
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・社会情勢の変化による地域の担い手が不足している。（共働き世帯の増加・定年延長・インターネットの普及など） ・ボランティアに参加したいと思う人はいるが、何ができるか、どうすればいいかわからない。 ・特定の方が複数の団体に所属するなど、負担が増えている。 ・深い絆より、ゆるい絆。まったく何もやりたくないとは思っていない。 ・もっとそれぞれの団体の活動をPR する必要がある。 など





■令和元年度 地域福祉懇談会

開催状況	<p>令和元年12月23日（月） 地域福祉活動支援センターで実施 参加者数31名（※主に安威川以北にお住いの住民）</p> <p>令和元年12月25日（水） 地域福祉活動支援センターで実施 参加者数32名（※主に安威川以南にお住いの住民）</p>
主な意見	<p><u>共通した意見として</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い世代の地域離れなど、自治会やボランティアなど地域の担い手が不足している。 →（PTA など）子どものつながりを通して、若い人が集まる場を ・空き家が増えてきており、防犯面や、建物の崩壊などの不安があり課題となっている。 など <p><u>令和元年12月23日（月）（千里丘、三宅柳田、摂津、味舌）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・阪急や JR などの鉄軌道を中心に交通の便はいいが、ワンルームの賃貸マンションなど、一人暮らしの単身世帯が多く、地域とのつながりが希薄化している。 →参加しやすいイベント、地域の魅力の創出。 など <p><u>令和元年12月25日（水）（鳥飼、鳥飼東、鳥飼北、鳥飼西、別府、味生）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設が少なく、集える場が少ない。地域が横に長く活動拠点までに距離がある。 ・洪水などの災害が不安である。 など



地域福祉懇談会

